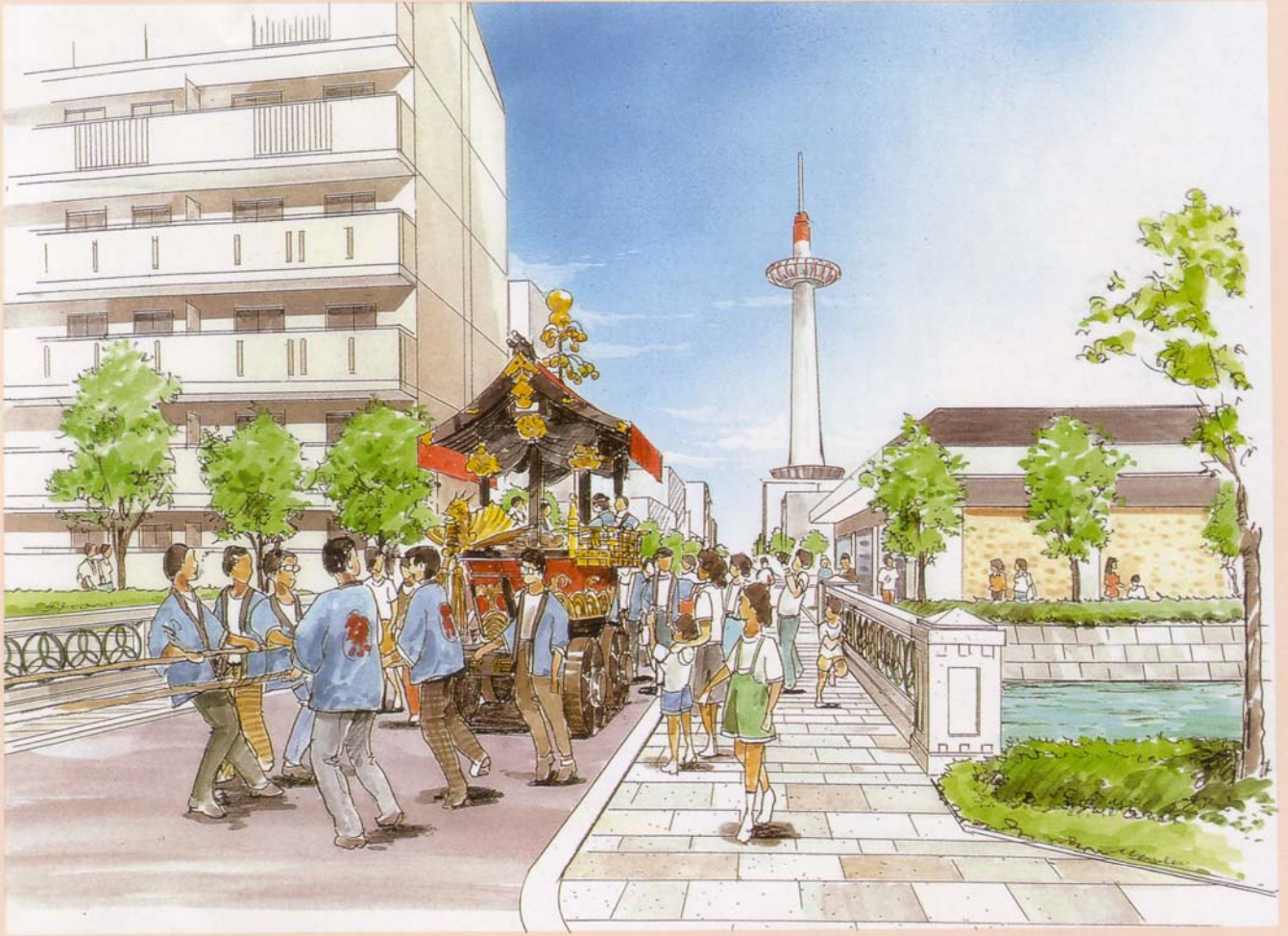




京都市崇仁まちづくり計画の あらまし

京 都 市

●「京都市崇仁まちづくり計画」とは

崇仁地区においては、平成8年7月に住民の総意に基づいた一日も早いまち向けて、「崇仁まちづくり推進委員会」が組織されました。現在「みんなが主づくり」を合言葉に、住民の手でまちづくりが進められています。この取組のウンウォッチングやビジョンゲームを通じて広く意見をまとめた、「崇仁まち画構想（案）」が策定されました。

これを受けて京都市では、その内容を最大限に尊重して、住環境整備事業を進めていく部分を中心に、事業の早期推進を図るため「京都市崇仁まちづくり策定しました。

また、この計画では、既存改良住宅の建替えをはじめとした環境改善等を今課題として、崇仁まちづくり推進委員会と連携して積極的に取り組むこととし

●土地利用の考え方

既存のコミュニティに配慮して、大幅な移転をせずすむように、住宅を配置します。（河原町以西180戸・河原町以东270戸、計450戸）

地区の立地性を生かし、都市機能や交流を促進するため、公的導入施設を検討します。

河原町塩小路付近は、地区内外の人が利用する施設を配置し、様々な人が行き交い出会う場所とします。

交番、郵便局、消防分団器具庫は地区内での移転を行います。

交流ゾーンには、保育所と、診療所・保健所分室・高齢者のための福祉施設・（仮称）地域コミュニティセンターの合築施設を整備します。また、柳原銀行周辺は、公園として高瀬川と一体的な整備を行います。

さまざまな公的住宅等の用地を確



●まちづくりの全体方針

づくりに
役のまち
中で、タ
づくり計

これから
計画」を

後の検討
ています。

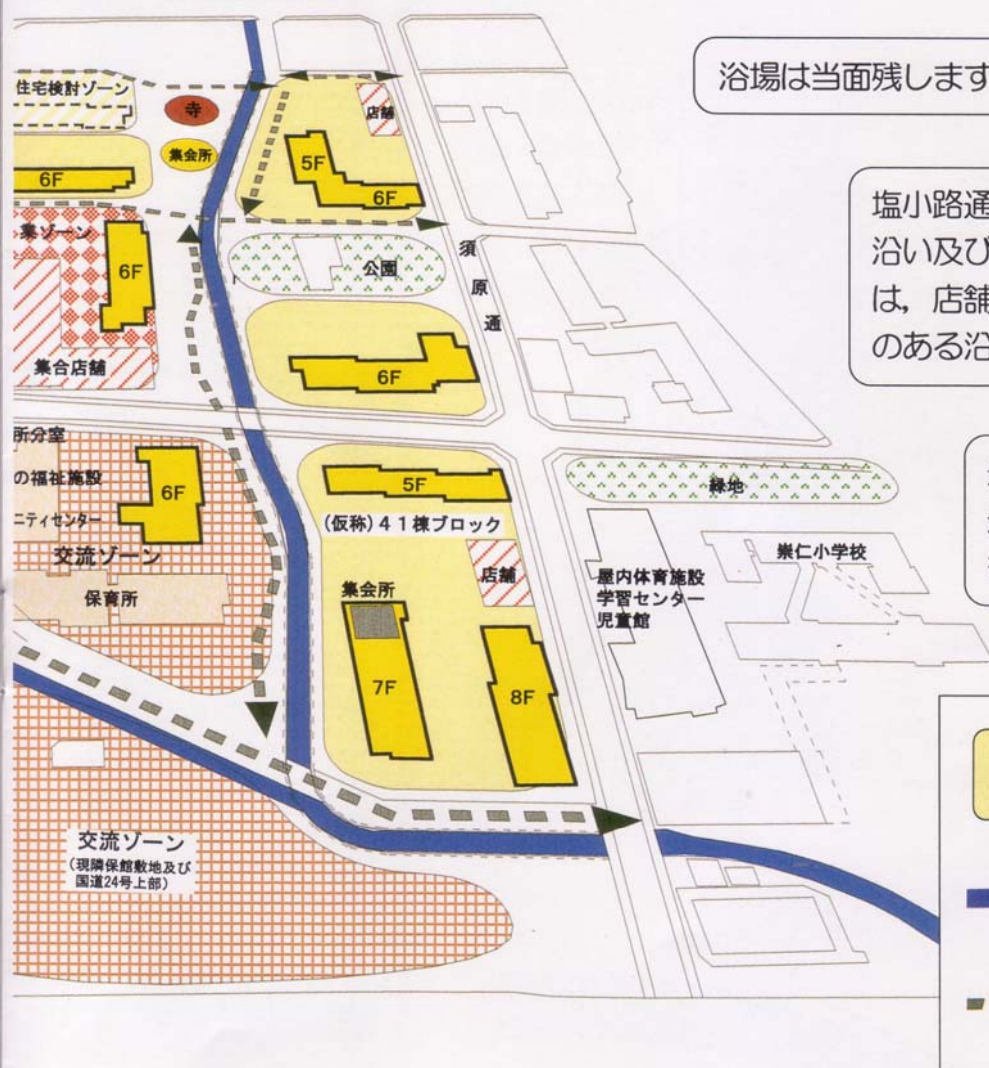
- ▶ 地区の立地性を生かしたまちづくり
- ▶ 都心居住を支える住宅供給と
都市サービスの提供
- ▶ 開放性の高い良好な都市景観と
安全かつ快適な住環境の創出
- ▶ 人と人との交流を促進するまちづくり
- ▶ 住民と行政とのパートナーシップ
による継続的なまちづくり

人が入居できるよう、
の建設を検討するため
保します

浴場は当面残します。

塩小路通、河原町通、須原通
沿い及び区域内の道路沿い
には、店舗を配置し、にぎわい
のある沿道空間とします。

通過交通の抑制と、円滑な交
通処理を行い、ゆとりある歩
行者空間を確保します。



改良住宅ゾーン

新しい高瀬川の流れ

区域内道路の位置と
一方通行規制の方向

●あたらしくなる高瀬川

【高瀬川の整備方針】

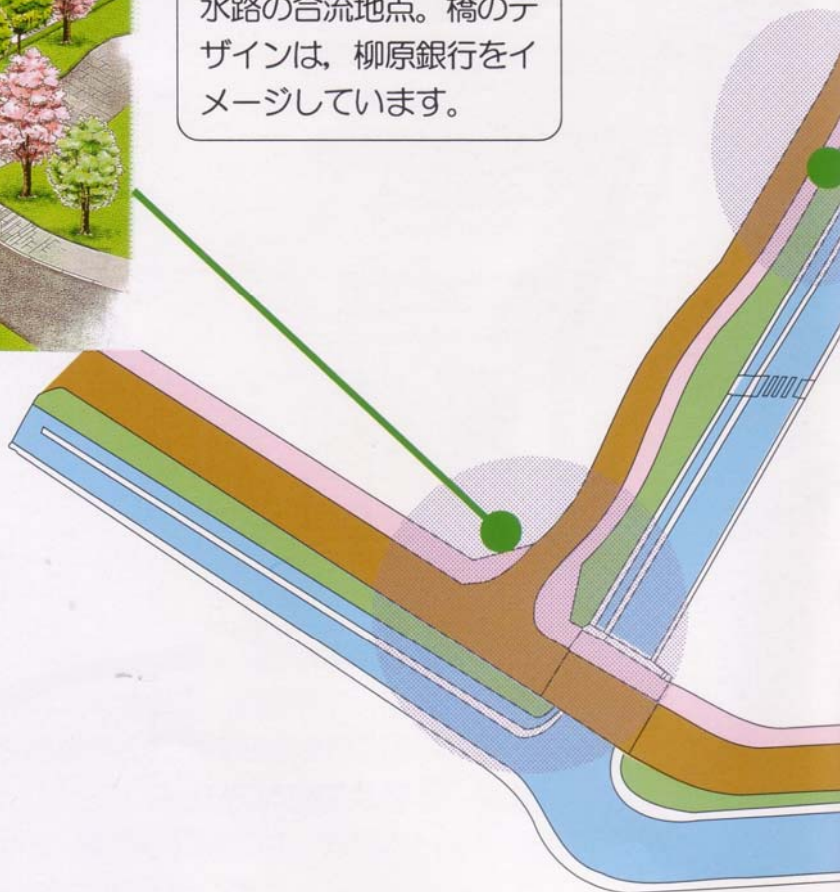
- 高瀬川の上流部の景観と調和し、一体感のあるデザインとします。
- 身近な自然空間として、昆虫や鳥などの小動物が生息できるよう、石や土などの護岸や、ゆるやかな土手を設けることとします。
- 快適に散策し、くつろげる、ゆとりのある歩行者空間として、親水性を高めた階段護岸を設けます。
- 都心部を流れる貴重な水流として、消防水利など、防災対策への活用を図ります。



塩小路通の橋は、町紋をイメージしています。

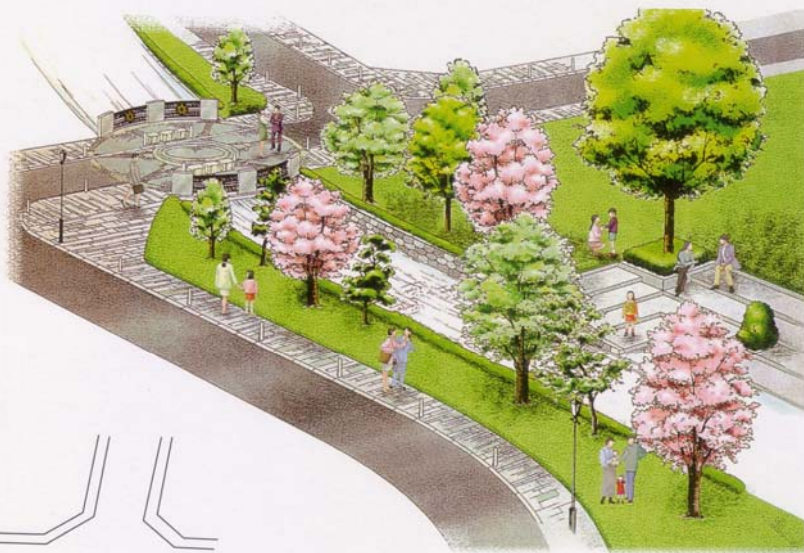


新しい高瀬川と、いままでの高瀬川の流れを残す水路の合流地点。橋のデザインは、柳原銀行をイメージしています。



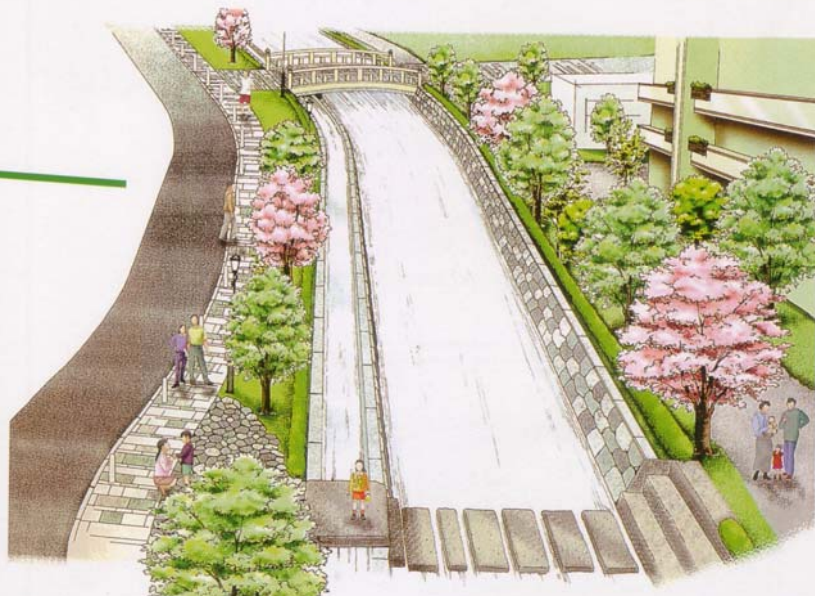
七条通

橋のデザインは船鉾の車輪をイメージしています。
階段状の護岸は、高瀬川の流れに親しみながらくつろげる空間になります。



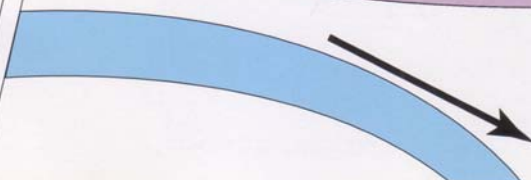
塩小路通

土や芝生におおわれた護岸は、自然を感じながら散策できる空間となります。



八条通までの高瀬川を整備します。

須原通



●これからの住まい

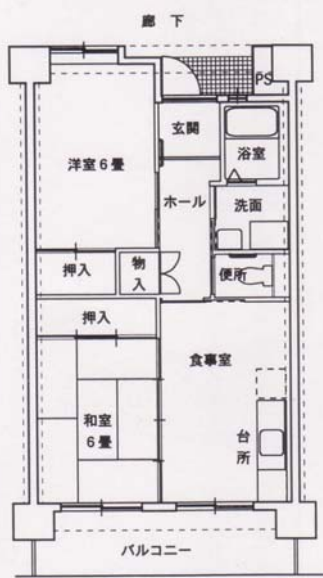
これから整備される住宅 ～（仮称）41棟の住戸

これからの住まいの考え方

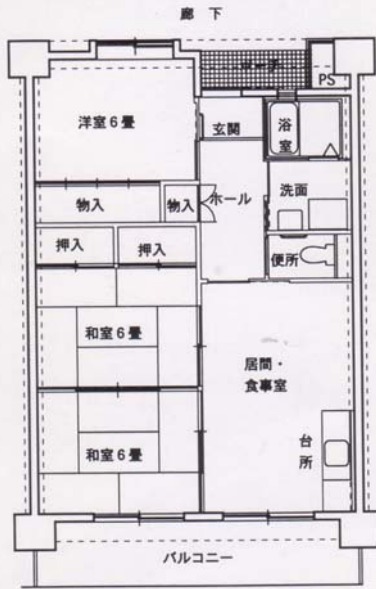
- 人にやさしいバリアフリーの住宅
- 様々な住み方に対応できる柔軟性のある住宅
- 個性を表現するゆとりある玄関まわり
- 明るい食事室
- 各住戸における浴室の設置
- 様々な世帯に対応できるタイプ別の住宅整備

（仮称）41棟では、下の図のような
タイプの住宅も整備します。

世帯にあわせたプラン
2DKタイプ
（約55㎡）



6畳が3間のプラン
3LDK-②タイプ
（約70㎡）



つまづきやすい
敷居の段差など
をなくします。

板畳はタンスなどを
置くのに便利です。

ふすまを外せば、
大勢が集まれる空間
ができます。

窓に面した明るい食
事室は家族団らんの
場となります。

プラン～

玄関回りのスペースは井戸端
会議や鉢植えを置くのに便利
です。

玄関が引き戸の
タイプも整備し
ます。

玄関、トイレ、
浴室には手すり
が付いて安心で
す。

収納スペースが多いプラン
3LDK-①タイプ
(約70㎡)

京都市では、3LDK(70㎡程度)を標準とし、
様々な世帯に対応できるよう、小規模な住戸を含む
いくつかの住戸プランを考えました。

ここで紹介する(仮称)41棟の間取りは、崇仁
まちづくり推進委員会が開催したワークショップで
出された、住民の方からのご意見を基に検討したも
のです。

(仮称)41棟で整備される住宅は、今後、崇仁
地区で整備する住宅のモデルとしていきたいと考え
ています。

An aerial photograph of a city area in Japan, showing a dense urban landscape. A wide river flows along the right side of the image. A major railway line with multiple tracks runs horizontally across the middle. The city is filled with various buildings, including residential blocks and larger commercial structures. Green spaces and parks are interspersed among the buildings. A compass rose in the top right corner indicates North (N).

発行 京都市都市計画局 住環境整備室
平成11年8月
京都市印刷物 110302号